

9. 大滝地区



9. 大 滝 区

1. 大滝区の現況

当地区は、平成18年3月1日に伊達市と飛び地合併した旧大滝村です。

壮瞥町を間に挟んで本市の北東部、支笏洞爺国立公園のほぼ中央に位置し、地区を南北に貫流する長流川に沿って本町、優徳町、北湯沢温泉町などの集落が点在しています。

地区の面積の約8割を山林が占める緑豊かな山間地域で、山林と清流、温泉郷など山麓の地形を活かし、農林業、観光、福祉を中心としたまちづくりが進められてきました。

特産品の「長いも」や「きのこ」に加え、健康食品として期待される「アロニア」の栽培促進、森林資源を活かした木質バイオマス（木質ペレット）の生産など、新たな産業形態が生まれています。

また、北湯沢温泉郷を中心に景勝三階滝や清流長流川など豊かな自然を活かした観光産業も堅実に推移しています。

2. 大滝区の課題

- ・ 全般的に山麓の丘陵台地で国道453号沿いに集落が点在しており、一定の機能を持った市街地形成を図る上で利用できる土地の確保が難しい状況にあります。
- ・ 中心市街地とは約3.5km離れており交通利便性が大きな課題であることから、路線バスの現状維持とともに、高齢者などを対象とした交通サービスの検討が求められています。
- ・ 地区の基幹交通軸である国道453号、276号や道道白老大滝線について、大雨や冬期間の天候に左右されない安全な交通確保と地区内市道の適切な維持・補修が必要です。
- ・ 平成ふるさとの道や優徳農村公園など、既存施設の適切な管理と積極的な活用が求められています。
- ・ 2級河川長流川をはじめ、良好な河川環境の保全と水害に強い河川対策が求められています。
- ・ 老朽化した下水道施設の改築、更新、下水道整備区域外については、合併処理浄化槽の普及促進が必要となっています。
- ・ 地域の資源でもある温泉等を活用しながら、豊かな自然環境を保全していく必要があります。

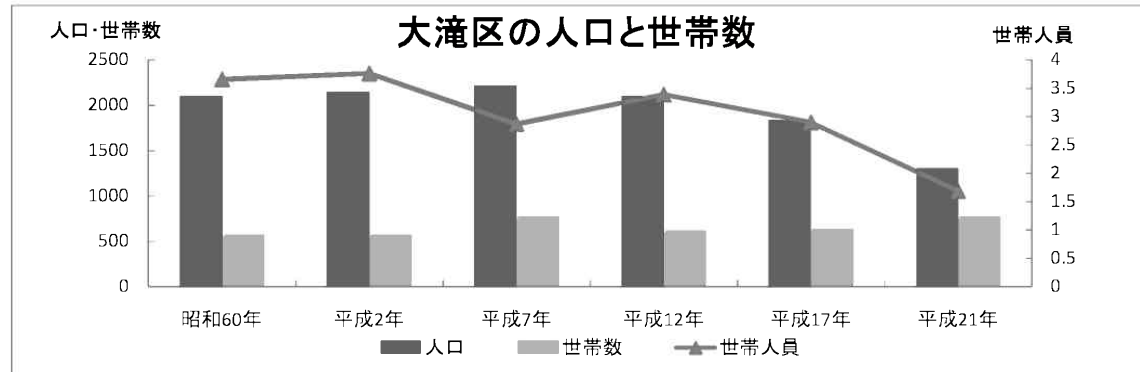
地区別カ ル テ <大 滝 区>

人口・世帯数

都市計画の状況

	H17国勢調査	H21住基台帳
人 口	1843 人	1304 人
世 帯 数	635世帯	772世帯

※ 大滝区は都市計画区域外のため、該当事項はありません。



公 共 施 設

公 園

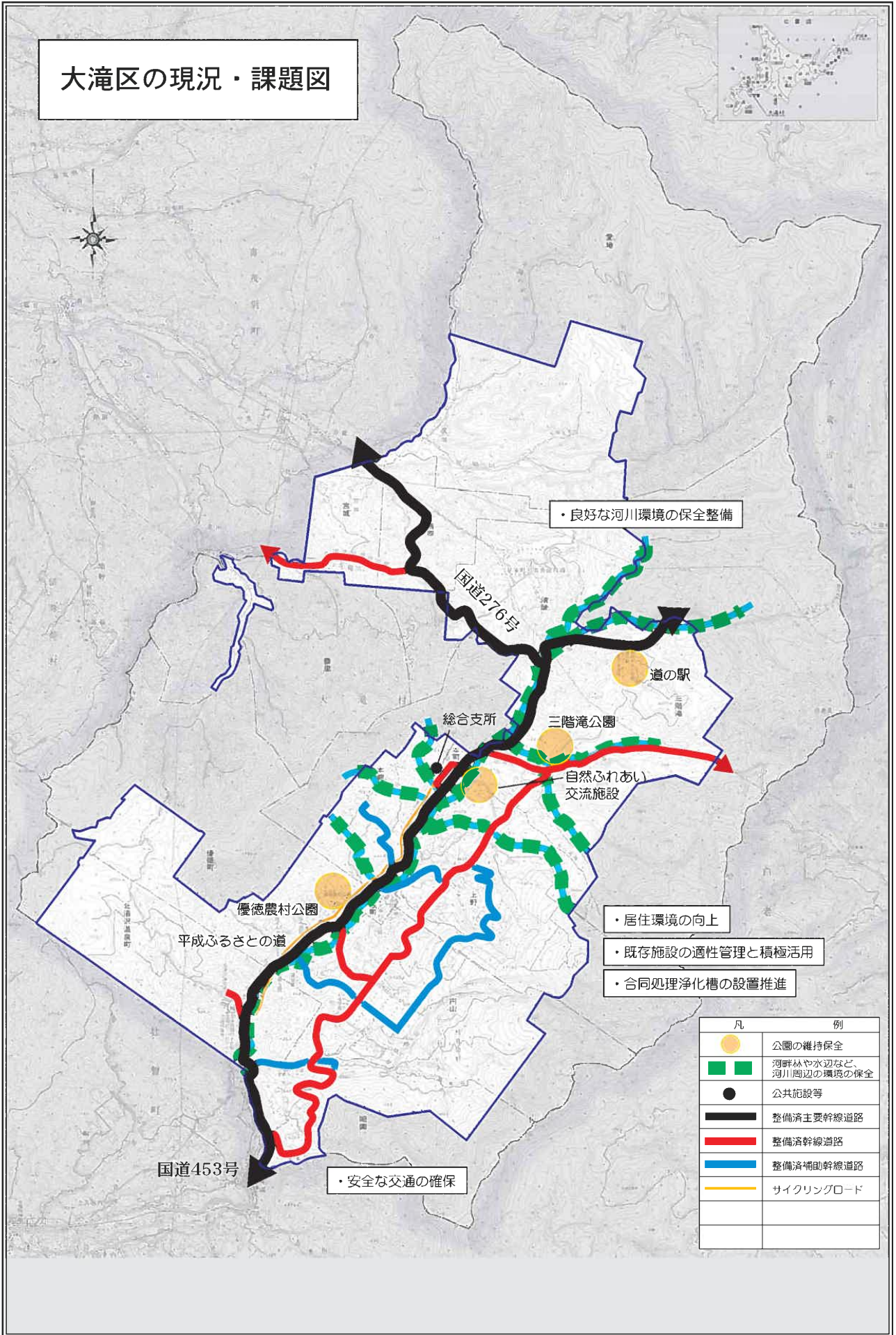
道 路

- 1 大滝総合支所
- 2 基幹集落センター
- 3 地域活性化交流センター
- 4 大滝保育所
- 5 大滝小学校
- 6 大滝中学校
- 7 北湯沢湯のさと館
- 8 大滝共同浴場

番号	名称	面積
	自然ふれあい交流施設	2.8ha
	パークゴルフ場	
	優徳農村公園	2.5ha
	大滝総合運動公園	4.3ha

番号	路線名	幅員
	一般国道453号線	
	一般国道276号線	

大滝区の現況・課題図



凡	例
●	公園の維持保全
■	河畔林や水辺など、河川周辺の環境の保全
●	公共施設等
—	整備済主要幹線道路
—	整備済幹線道路
—	整備済補助幹線道路
—	サイクリングロード

3. 大滝区のまちづくり方針

(1) 土地利用

- ・ 市街地については地域産業の基盤づくりを考えあわせ、住民の利便性・快適性を基本とし、住宅マスタープランによる公営住宅の整備や未利用宅地の利用促進など住環境の整備に努めます。
- ・ 上野地区や円山地区をはじめとした優良農地の保全を図り、農地の高度利用に努めるとともに、森林や河川など良好な自然環境の保全・活用を図ります。
- ・ 地場産業の活性化を図るため、北湯沢温泉や三階滝、道の駅周辺を産業観光ゾーンとして、自然景観とバランスの取れた土地利用に努めます。
- ・ 既成住宅地における生活道路の維持管理や合併処理浄化槽の推進などの生活環境基盤の整備を進めます。
- ・ 三階滝・長流川・北湯沢温泉などの自然・観光資源の有効活用を図り、本市の観光レクリエーション基地として「癒しの里」づくりに向けた環境整備に努めます。

(2) 都市施設

- ・ 平成ふるさとの道や優徳農村公園など、既存施設の適切な維持・補修を進め積極的な活用を図るとともに、公園の維持管理についての検討を行います。
- ・ 老朽化した下水道施設の長寿命化を図りながら、施設の改築・更新整備に努めるとともに、下水道整備区域外については、生活排水処理基本計画に基づき、合併処理浄化槽の普及促進に努め、関連施設の整備を進めながら、生活環境の改善を図ります。

(3) 都市環境・景観の形成

- ・ 大滝区は本市の中でも優れた景観を有しており、徳舜瞥山麓や長流川流域などの環境整備と保全を図り、美しい景観の維持に努めます。

(4) 安全で安心なまちづくり

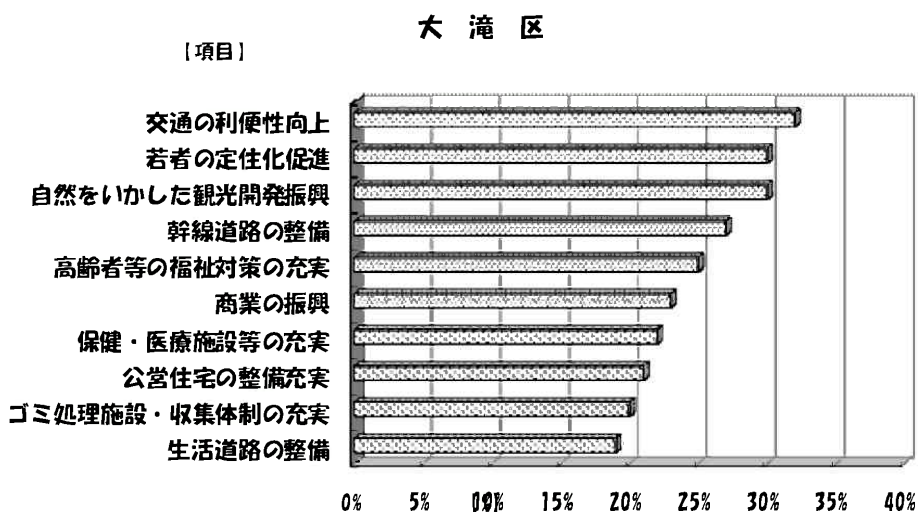
- ・ 道路事情を踏まえ、防雪、路面凍結、除排雪対策を充実し冬期間の安全な交通確保を図ります。
- ・ 国道453号、276号については北湯沢蟠溪間の道路改良整備、道幅や歩道の整備を進めます。
- ・ 国道・道道の除雪体制については、関係機関における計画的かつ迅速な対応を要請します。
- ・ 道道白老大滝線の通年供用に向けた交通安全施設の整備を進めます。

大滝区の皆さんのまちづくりへの提案

- ・ 地区の人口増につながる施策の展開。
- ・ 中心市街地までの距離が遠いため、医療、福祉サービスの充実が必要。
- ・ 既存の公共施設を有効に活用し、住民活動を活性化させる。
- ・ 公共施設や沿道の緑化、看板の検討などにより良好な景観・環境をつくる。
- ・ 既存施設や資源を活用し、観光と連携したまちづくりを進める。
- ・ 特産品の差別化とPR（情報発信）による農業振興と後継者の育成が必要。
- ・ サイクリングロードの活用やノルディックウォーキング、川下りなど自然体験を主とした、温泉以外の観光メニューを開発する。

など

大滝区の皆さんが望む「力を入れるべきまちづくりの施策」です。



(旧大滝村 第4次総合計画 より)

大滝区整備方針図



既存施設の適切管理と有効活用

公営住宅整備と未利用地の利用促進

合併処理浄化槽の計画的整備

安全な交通の確保

良好な河川環境の保全整備

国道276号

道の駅

総合支所

三階滝観光ゾーン

自然ふれあい
交流施設

白老大滝線の通年開通

優徳農村公園

平成ふるさとの道

徳舜誓山麓の景観を保全

北湯沢温泉観光ゾーン

国道453号

渓道路の早期完成

交通サービスの検討

凡	例
商業地	農振・農用地
沿道商業地	公園
一般住宅地	緑地
低層住宅地	河川
将来住宅地として 想定される区域	歴史資源
広域幹線道路	観光資源
主要幹線道路	地区中心
幹線道路	水と緑の拠点
補助幹線道路	観光・レジャー・シニア の拠点
水と緑の軸	歴史資源の中心